

【2016年1月1日から2017年12月31日の間に当院にて腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下椎弓切除術を受けられた患者さんへのお知らせ】

課題名：硬膜癒着を示唆する術前所見の検討

1. 研究の対象

2016年1月1日～2017年12月31日に当院で腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下椎弓切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2016年1月1日から2017年12月31日の間に当院にて内視鏡下椎弓切除術を受けられた、腰部脊柱管狭窄症の症例に対して、診療録やX線・CT・MRI画像を使用して、術後に発生する硬膜損傷について、その因子となり得る術前所見について、研究・考察を行い、硬膜損傷の発生を防ぐことを目的とします。研究期間は倫理委員会承認日から2020年3月31日までです。研究結果は論文や学会等で発表いたします。研究に関するデータは論文等の発表から5年後に廃棄いたします。

既存資料のみを用いる研究であるため、新たに人体試料の採取や治療介入を行うことはありません。また、個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。患者さんに負担が生じることはありません。また、経済的負担・謝礼はありません。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、罹患期間（月）、手術歴、画像所見

4. 研究に関してご質問がある方、また、対象の患者さんのうち、データを使用されたくない方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

5. 本研究では資金を必要としません。この内容を利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。

問い合わせ先：研究責任者 川崎医科大学 脊椎・災害整形外科 射場 英明

〒701-0192 倉敷市松島 577

TEL : 086-462-1111 FAX : 086-464-1175

電子メール : seikei@med.kawasaki-m.ac.jp